宍粟市コミュニケーション戦略7ラン(概要版)

基本理念

広報広聴をまちづくりのためのコミュニケーションツールに

基本戦略

送り手目線から受け手目線への広報広聴の転換

まちづくりのための情報交流の推進

政策と広報広聴の連携強化

重点プロジェクト

- ◆危機管理情報の発信力の強化
- ◆職員の広報広聴研修の実施
- ◆広報スペシャリストによる広報メディアの検証
- ◆市民参画による広報広聴委員会の創設
- ◆テーマ設定による懇談会の実施
- ◆地域コミュニケーションマニュアルの整備
- ◆観光拠点における情報発信の充実

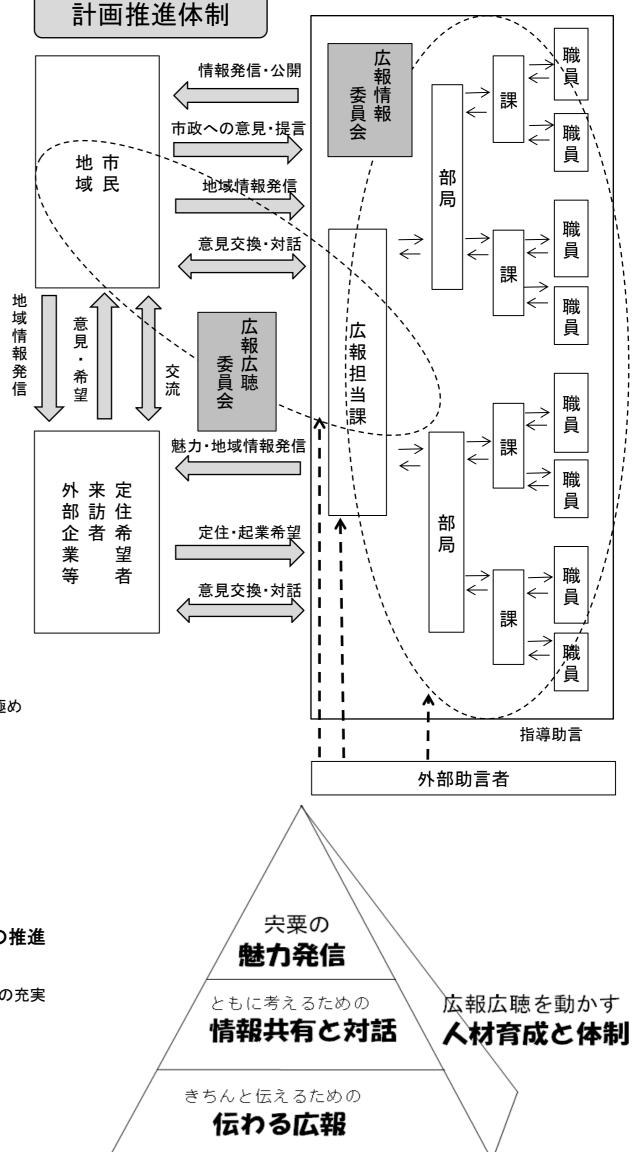
1. 必要な情報が必要な人に「伝わる広報」の推進 ①広報メディアの普及と広報スペースの充実 伝わる ②取材内容の理解と取材過程の充実化、効率化 広報 ③広報内容の充実 ④情報に見合った広報メディアの選択と発信のタイミングの見極め 2. まちづくりのための「情報共有と対話」の推進 ①行政情報や地域情報の公開と公開手順の簡易化、効率化 情報 共有と ②行政情報・地域情報の質的向上 |対話 ③ニーズや政策に応じた効果的な広聴手段の整備と活用 動 ④地域情報発信の充実と支援 項 3. 地域内外の人々をひきつける「戦略的な魅力発信」の推進 戦略 ①魅力の再発見と創造による魅力発信の推進 的な

②広報メディア、観光拠点、出張型発信、話題づくりによる発信の充実 ③ターゲットを見据えた宍粟のブランド化 4. 広報広聴を動かす「人材育成と体制づくり」の推進 ①職員の意識啓発と技術向上 ②広報広聴組織の整備と活性化 ③事業担当と広報広聴担当の効果的、効率的な連携

社会の変化や価値感の多様化の中での参画協働型まちづくり

宍粟市の広報広聴を取り巻く背景

- ・地方分権、少子高齢化、過疎化の中での地域再生や自立した 自治体づくり
- 情報の高度化、多様化の中での効果的な情報の発信と共有
- ・厳しい財政状況・人材不足の中での効率的な広報広聴の推進



このプランにおける「戦略」とは

魅力

発信

人材

育成と

体制

づくり

単にお知らせする、意見を聞くという広報広聴ではなく、何のために広報や広聴を行うのか、 今後どうしたいのかを意識して広報や広聴に取り組むこと

